

カゲロウとハチ

2014年7月26日

今日は昨日の30.1度を上回る31.3度、今年最高と思ったら6月1日と同気温だ。

気温が高いせいでもないだろうがカゲロウとハチが温室に飛び込んできた。

体長4センチほど、**ウスバカゲロウ**はつまんで外で写す、飛びかたは**ウスバカ**、**ゲロウ**の感じ。カゲロウ目の仲間ではない。幼虫はアリジゴクと呼ばれる。熊野神社の床下にたくさん蟻地獄の巣があった。今思うと持ち帰って育てる昆虫少年でなかった。

オオホシオナガバチ(モンオナガバチ)は少し小型で体長3~4センチ。こちらは元気すぎて、つまんで離れたら居なくなりそう、**ガラス越しに写す**。長い産卵管をもつ、木の中にいるギバチの幼虫に卵を産み付けるためのようだ。

こちらは岩手の昆虫百科に載っていない、調べるのに時間がかかった。どちらもきちんと写すべきと後悔する。







